

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】令和 4 年 4 月 26 日(2022.4.26)

【公開番号】特開 2020-148454(P2020-148454A)

【公開日】令和 2 年 9 月 17 日(2020.9.17)

【年通号数】公開・登録公報 2020-038

【出願番号】特願 2020-89501(P2020-89501)

【国際特許分類】

F 2 6 B 21/00(2006.01)

B 0 5 B 3/06(2006.01)

B 0 8 B 5/02(2006.01)

10

【F I】

F 2 6 B 21/00 B

B 0 5 B 3/06 B

B 0 8 B 5/02 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 4 月 18 日(2022.4.18)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

隣接して配置された複数のノズルが同一方向に回転しながら空気流を噴射する気体噴出装置であって、前記気体噴出装置は、

気体を受け入れる流体流路を備え、回転可能に保持された回転体と、

前記回転体から内部が遮られずに延び、前記気体をオリフィスから噴射させるノズル部材と、

30

前記回転体および前記ノズル部材を収容する保護カバーと

を備え、前記ノズル部材は、前記回転体に接合され、前記回転体との接合部から前記ノズル部材の内径を保持して前記オリフィスまで屈曲して延び、前記オリフィスから気体を径方向外側に偏向して噴出させる、気体噴出装置。

【請求項 2】

前記保護カバー内部で、前記オリフィスを収容する空間を画定する底板を備え、前記ノズル部材は、前記流体流路と前記オリフィスとの間に延び、前記底板に対して周方向および垂直方向に対して傾斜して延びる、請求項 1 に記載の気体噴出装置。

【手続補正 2】

40

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明によれば、

隣接して配置された複数のノズルが同一方向に回転しながら空気流を噴射する気体噴出装置であって、前記気体噴出装置は、

気体を受け入れる流体流路を備え、回転可能に保持された回転体と、

前記回転体から内部が遮られずに延び、前記気体をオリフィスから噴射させるノズル部材

50

と、

前記回転体および前記ノズル部材を収容する保護カバーと
保護カバー内部で、前記オリフィスを収容する空間を画定する底板と、
を備え、前記ノズル部材は、前記回転体に接合され、前記回転体との接合部から前記ノズル部材の内径を保持して前記オリフィスまで屈曲して延び、前記オリフィスから気体を径方向外側に偏向して噴出させる、気体噴出装置が提供される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

前記保護カバー内部で、前記オリフィスを収容する空間を画定する底板を備え、前記ノズル部材は、前記流体流路と前記オリフィスとの間に延び、前記底板に対して周方向および垂直方向に対して傾斜して延びてもよい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

10

20

30

40

50